

片手でのキーボード利用の問題点の解決について

200712017 川上 茂浩

過去の卒業研究で一時的な片手キーボードの利用に関する研究があった。これは、UNIX 上の X Window System の `xmodmap` という仕組みを使い、キーの配置を変え、どのようにしてキーボードを片手で扱うように変更するのか、それを実際にキーボードに割り当て、実験し考察した研究である。

しかし、この研究にはいくつか問題点が残っていた。それは、大きく 2 つに分けると記号を全く考慮していなかったこと、`BackSpace` の押し続けによる連続的な文字削除が不可能で、一文字毎に削除しなければならなかったことである。

今回は 2 つの問題の解決を目指すとともに、過去の研究でまだ試していない右側に左側を鏡合わせにする並びや、オリジナルの並びを考え、実際にキーボードに割り当て実験し、考察する。